



鉄道事故分析集

地域鉄道における事故防止対策

1.はじめに	1
2.事故等の発生状況と必要な安全対策	2
3.事故調査事例 (列車脱線事故・踏切障害事故)	9
4.事故防止に向けた支援制度の紹介	16
5.まとめ	18

1. はじめに

地域鉄道とは、一般に新幹線や在来幹線、都市鉄道に該当する路線以外の鉄軌道路線のことをいいます。

地域鉄道は地域住民の通勤や通学、通院などのための移動手段として欠かせないものであり、観光振興や経済活動などの地域社会の基盤として重要な役割があります。一方で地方の少子高齢化や過疎化、自家用車の普及等に伴う利用者減少が深刻となっており、多くの鉄道事業者において経営状況が厳しい状態となっているという問題もあります。厳しい経営状況は、鉄道車両や施設の老朽化につながってしまうこともあるため、いかに効率的・効果的に事故防止のための安全対策を行っていくかという点も重要となります。

旧航空・鉄道事故調査委員会及び運輸安全委員会が調査対象とし、事故等調査報告書を公表した平成13年10月～令和5年3月までの鉄道事故等（路面電車等の軌道を除く）371件のうち、地域鉄道における事故及び重大インシデントは合計99件発生しています。この中には、安全対策が不十分だったことによる脱線事故や、第3種・第4種踏切道における踏切障害事故、自然災害等による脱線事故など様々なものが含まれています。このダイジェストは、地域鉄道における事故防止に資することを目的として、地域鉄道における事故の発生状況の分析や必要な安全対策等を紹介します。本号を、地域鉄道事業に関わるみなさまにご活用いただければ幸いです。



写真提供：道南いさりび鉄道株式会社（左）／若桜鉄道株式会社（中央、右）